

經濟論叢

第127卷 第4・5号

哀 辞

故蜷川虎三名誉教授遺影および略歴

わが国の原子力政策	木 原 正 雄	1
マルゼルブと出版統制 (4)	木 崎 喜代治	26
情報と取引	成 生 達 彦	53
ソビエトの計画化方式：現状と改善方向	中 江 幸 雄	65
戦前における巨大電機企業の確立 (2)	吉 田 秀 明	90
『商工業不況調査委員会報告書 (1886)』における 「大不況」認識	山 田 昭 夫	113

追 憶 文

蜷川先生追悼の記——先生の会計学研究	岡 部 利 良	139
蜷川虎三先生——その人と業績	大 橋 隆 憲	155

昭和56年4・5月

京都大學經濟學會

哀 辞

本学名誉教授蛭川虎三先生は 去る昭和56年2月27日京都のご自宅にて心不全のためご永眠されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 大正12年京都帝国大学経済学部をご卒業になり大学院で経済統計学を専攻され 大正15年経済学部講師 昭和2年助教授 昭和14年より同21年ご退官まで教授として研究と教育および後進の養成に尽力されました その間昭和20年から同21年まで経済学部長として大学行政の面でも多くの貢献をされました その後 昭和23年から同25年まで中小企業庁長官の要職に就かれ 戦後経済の復興に寄与され ひきつづき昭和25年京都府知事にご就任 いらい同53年まで28年間のながきにわたり 地方行政においても大きな活躍をされました

先生は 統計学 会計学 水産経済学などの分野における先覚的研究者として 数多くの著作をのこされました とくに名著『統計利用に於ける基本問題』にて 経済学博士の学位を授与されるとともに わが国社会統計学の発展のために指導的な役割を果たされました

経済学部にご在職中 多くの子弟を教育され また本誌にも数多くの貴重な論文を発表され わが学会のために このほかご尽力をいただきました ここに在天の先生のみ霊にたいして 心からご冥福をお祈り申し上げます

昭和56年4月1日

京都大学経済学会